

【質問】

『S.P.Y.株式会社』九条睦月著のを点訳しています。本文に「S.P.Yours 略して S.P.Y(エス・ピー・ワイ)あるいは SPY(スパイ)と言ひまして。」

アルファベットで書かれているところの書き方がをお教えてください。

・書名の「S.P.Y.」は略称なのでてびき44ページ備考4と考えて「外大大 SPY」または「外大 S.大 P.大 Y.」と2つ考えらると思うのですが、書名は「外大大 SPY■カブシキガイシャ」と考えました。

・「S.P.Yours」はてびき47ページコラム9の NTT Communications と考えて、「外大 S.大 P.■大 Yours 外」もしくは「外大大 SP■大 Yours 外」2つ考えらると思うのですが、「外大大 SP■大 Yours 外」と考えました。

・「S.P.Y.(エス・ピー・ワイ)」は「外大大 SPY(エスピーワイ)」もしくは「外大 S.大 P.大 Y.(エスピーワイ)」と2つ考えらると思うのですが、「外大大 SPY(エスピーワイ)」と考えました。

・あるいは SPY(スパイ)は諜報員という意味の語句と思うので、「引大大 SPY 引■(スパイ)と考えました。

【回答】

S.P.Y.を外大大 SPY と点訳する前提で書きますと

S.P.Y. → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

S.P.Yours → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

S.P.Y(エス・ピー・ワイ) → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

SPY(スパイ) → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

となります。

「てびき」p47 コラム9の「NTT Communications」の例では、このような場合は外国語引用符を用いると説明しています。

コラム9

略称か、語句か

外文字は、アルファベットの文字・略称に用います。外国語引用符は外国語の語句や文、およびローマ字で書かれた日本語に用います。

OPECは、オベックと読みますが、「Organization of Petroleum Exporting Countries」(石油輸出国機構)の略称ですので、外文字で書きます。略称を習慣的に愛称や語呂合わせなどのように読んでいる場合もありますので、よく調査して判断しましょう。

英語やフランス語などの外国語は、「in・on・by」など短い語でも外国語引用符で囲みます。ローマ字で書かれた語句も外国語引用符で囲みます。

フォーラムin京都【フォーラム ⠠⠠ i n ⠠⠠キョート】

HAKATA【⠠⠠⠠⠠HAKATA⠠⠠】

aiko【⠠⠠a i k o⠠⠠】

100分de名著【⠠⠠1 0 0ブン⠠⠠d e⠠⠠メイチョ】

調査しても略称か語句かの判断がつかない場合は、外文字を用いて書きます。

なお、外文字で書くべき略称と外国語引用符で囲むべき外国語が複合した語は、一つの外国語引用符で囲んだ方がよいでしょう。

NTTcommunications【⠠⠠⠠⠠NTT⠠⠠c o m m u n i c a t i o n s⠠⠠】

【Q】

次のような文章で、視線(指線)の部分の点訳ですが、カッコ内に点訳挿入符を使おうと思うと閉じカッコとの関係で使えないのですが、このような場合はどうしたらよいのでしょうか。

本のページの手触りを意識し、視線(指線)で活字を追いながら、紙上ワークショップをお楽しみください!

【A】

このような場合、シセン(シセン)と書いても、同じ読みの繰り返しで、分かりにくいだけですので、シセン点挿ミル■セン、■カッコナイニ■コビノ■セン点挿などのように、同じ読みの語がカッコ内に書かれていることを説明するとよいと思います。

視線(指線)

× シセン(シセン)

○ シセン $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ミル■セン、■カッコナイニ■コビノ■セン $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$

【Q】

点訳挿入符を使い説明するとカッコが続いてしまう時の対処の仕方を教えてください。
家臣たちからは「お館様(お家形様)」と呼ばれ、
この部分はどの様に点訳すればよいでしょうか？

【A】

「お館様(お家形様)」の漢字の違いについて、原本でこの前後に言及されていず、単に2種類の書き方を示しただけでしたら、「オヤカタサマ」と書くだけで、(～)は無視してもよいと思います。

もし、漢字で2種類の表現があることを示す必要がある場合は、

1. 「オヤカタサマ((カッコ内に異なる漢字で書いてある))」
2. 「オヤカタサマ((「ヤカタ」は「たて」と、カッコ内に「イエ、カタチ)))」

などの説明をいれてはいかがでしょうか。

お館様(お家形様)

- ・ 原本でこの前後に言及されていず、単に2種類の書き方を示しただけでしたら、「オヤカタサマ」と書くだけで、(～)は無視してもよい

○ オヤカタサマ

○ オヤカタサマ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■カッコナイニ■コトナル■カンジデ■カイト■アル $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$

○ オヤカタサマ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■ヤカタ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■ワ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■タテ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■■カッコナイニ■■イエ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■■カタチ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$

【質問】「悲しい(哀しい)」と本文にあるのですが、どちらも「かなしい」と読むけど点字でどう書く？

【回答】

原本でこの前後に言及されていず、単に2種類の書き方を示しただけでしたら、「カナシイ」と書くだけで、(～)は無視してもよいと思います。

悲しい(哀しい) → カナシイ

【質問】

以下の文章のカッコについて質問です。

1. チーフは僕たちを(僕たちの両親との金銭的取り決めに従って)セントラルパークに連れて行った。
2. 僕たちは季節に(ごく大雑把に)合わせてサッカーか野球をやった。
3. 今朝、あまりの寂しさに、笑い男はひっそり(その足どりは猫のように優雅であった)隠れ家の周りのうっそうたる森に出かけて行った。

※「文章の切れ続きの決まりに従って判断すると、カッコの閉じの後ろに、前から続く助詞や助動詞あるいは句読点などがあればカッコの前後は文として続いていると判断し注釈的説明と考えカッコは続ける。カッコで囲まれた文を省いて読んで文脈が続かなくなる場合は挿入と考える。」とベテランのボランティアさんに教えてもらったのですが、この考え方で考えると、

挿入は1. 2

1. チーフは僕たちを■(僕たちの両親との金銭的取り決めに従って)セントラルパークに連れて行った。
2. 僕たちは季節に■(ごく大雑把に)合わせてサッカーか野球をやった。

注釈的説明は3

3. 笑い男はひっそり(その足どりは猫のように優雅であった)隠れ家の周りのうっそうたる森に出かけて行った。

3. はカッコの閉じの後ろに、前から続く助詞や助動詞あるいは句読点などがなく迷ったのですが、カッコが前の語「ひっそり」にかかっているということで、注釈説明でつづける。あと、てびき 108 ページの参考のどちらか迷う場合も多いので、迷った場合は基本的な用法を選び、前の語に続けるように考えました。

※「ただ、[参考]には、前を区切って書く場合として、『独語と、前の語句の説明ではなく後ろの文脈にかかること』が挙げられています。」

『点訳フォーラム』より

一九二八年、九歳だった僕は、最大限の組織愛を胸に、コマンチ・クラブなる団体に属していた。毎日放課後三時に、僕たち二十五人のコマンチ族を、族長が一〇九丁のナムステルダム・アベニュー付近、公立一六五番校の男子用出口の外まで迎えにきた。僕たちが押しあいへしあいチーフの再改造バスに乗り込むと、チーフは僕たちを(僕たちの両親との金銭的取り決めに従って)セントラルパークへ連れていった。日が暮れるまで、天気が悪くないかぎり、僕たちは季節に(ごく大雑把に)合わせてフットボールかサッカーか野球をやった。雨の日にはいつも、自然史博物館かメトロポリタン美術館にチーフは僕たちを連れていった。

毎土曜日と、祭日の大半、チーフは朝早く僕たちのアパートメントを回って僕たちを拾い、廃車としか見えないバスで僕たちをマンハッタンの外の、都心に較べれば広々としたヴァン・コートラント公園かバリセースに連れ出した。僕たちの頭がひか

けた。ところが、なぜか山賊の一味は彼が自分たちの隠れ家にとどまることを許した。ケシの花びらで作った、薄赤色のペールで顔を覆っているかぎり。ペールのおか

べールのせいで、笑い男はいつも阿片の匂いをおんぶさせていたのである。この

朝、あまりの寂しさに、笑い男はひっそり(その足どりは猫のように優雅であつた)隠れ家の周りの鬱蒼たる森に出かけていった。森で彼はあらゆる種の動物を手な

ずけていた。犬、白マウス、鶯、ライオン、大蛇、狼。動物たちの前ではペールも外

し、動物自身の言葉で優しく、歌うように話しかけた。動物たちは彼を醜いと思わな

かった。

【回答】

ベテランのボランティアさんの説明も、その通りと思いますし、切れ続きの判断もお考えの通りと思います。

3.は、お考えのように前の「ひっそり」の補足説明ですし、カッコの開き閉じの記号を省いて、続けて読むと文脈が不自然になりますので、説明カッコとの判断になると思います。

『点訳のてびき第4版』106-108 ページ

2 ……カッコ類

(1) カッコ類は、原則として注釈的説明の語句を囲む場合に用いる。

第1カッコ(⠠～⠡)を用いることを基本とし、その中にさらにカッコ類が必要であれば、二重カッコ(⠠⠠～⠡⠡)を用いる。これらは墨字の(～)・((～))にはほぼ対応している。第1カッコ・二重カッコと区別して他のカッコを必要とする場合に、第2カッコ(⠠⠠～⠡⠡)を用いる。

(2) カッコ類で囲んだ語句や文、記号類とカッコ類の内側は続け、外側は分かち書きの規則に従う。

(3) カッコ類で囲んだ語句や文が、前の語句や文の注釈的説明である場合は前に続けるが、独語や回想、編集上の注意書き、略語などが挿入されていて、明らかに注釈的説明と異なる場合は、前をあける。

(4) 外文字を用いて書かれたアルファベットの後ろと、注釈的説明に用いられているカッコ類とは続けて書き、外国語引用符の閉じ記号とカッコ類の開き記号との間は一マスあける。

少年(16歳)の姿 ショーネン⠠⠠16サイ⠠ノ⠠スガタ

全視情協(全国視覚障害者情報提供施設協会)の大会が開かれた。

ゼンシジョーキョー⠠⠠ゼンコク⠠シカク⠠ショーガイシャ⠠ジョーホー⠠テイキョー⠠シセツ⠠キョーカイ⠠⠠ノ⠠タイカイガ⠠ヒラカレタ⠠

日頃冷静(?)な彼があんなに慌てるなんて

ヒゴロ⠠レイセイ⠠⠠⠠ナ⠠カレガ⠠アンナニ⠠アワテルナンテ

私は(元気を出さなければ)と繰り返しつつやいた。

ワタシワ⠠⠠ゲンキヲ⠠ダサナケレバ⠠⠠ト⠠クリカエシ⠠ツブヤイタ⠠

彼は「今年は(ホームランを)50本打つ」と言っている。

カレワ⠠⠠コトシワ⠠⠠ホームランヲ⠠⠠⠠50ポン⠠ウツ⠠ト⠠イッテ⠠イル⠠

彼は、「品川・川崎・神奈川・保土ヶ谷(中略)石部・草津・大津」と東海道五十三次をすらすらと言った。

カレワ⠠⠠シナガワ⠠⠠カワサキ⠠⠠カナガワ⠠⠠ホドガヤ⠠⠠チューリャク⠠⠠イシベ⠠⠠クサツ⠠⠠オオツ⠠ト⠠トーカーイドー⠠⠠53ツギヲ⠠スラスラト⠠イッタ⠠

(社福)全国社会福祉協議会

⠠⠠シャフク⠠⠠ゼンコク⠠シャカイ⠠フクシ⠠キョーギカイ

アサヒビール(株)本社 アサヒ⠠ビール⠠⠠カブ⠠⠠ホンシャ

ML(メーリングリスト)のメンバー

⠠⠠⠠ML⠠⠠メーリング⠠リスト⠠⠠ノ⠠メンバー

Gold(金)の輝き ⠠⠠Gold⠠⠠⠠キン⠠⠠ノ⠠カガヤキ

点字(視覚障害者のための触読文字)[名詞]

テンジ⠠⠠シカク⠠ショーガイシャノ⠠タメノ⠠ショクドク⠠モジ⠠⠠⠠メイシ⠠⠠

参考 カッコ類の基本的な用法は直前の語の注釈的説明ですので、前の語に続けて書きます。この場合は、カッコに囲まれた部分を省略しても文が成り立ちます。「少年の姿」「全視情協の大会」「日頃冷静な彼が」「MLのメンバー」「Goldの輝き」で前後の文脈に不自然な感じはありません。ただ、カッコには、これ以外に、文の途中に、独語や回想、(中略)などの編集上の注意書き、(株)(社福)などの略語等を挿入する用法もあり、その場合は独立した部分としてカッコの前をマスあけて書きます。これらには種々の用法が含まれ、一概にはいえませんが、独語の場合には、その部分を省略すると文脈に齟齬を生じますし、「(ホームランを)50本」のように、前の語の説明ではなく、**後ろの文脈にかか**ることもあります。どちらか迷う場合も多いので、迷った場合は基本的な用法を選び、前の語に続けて書きます。

料理も自分で(休み休みですけど)しましたし、

スーパー(人混みにはまだ無理ですね)に買い物にいったりしてみた。

理学的研究では、一夫一妻制社会では(一夫多妻制社会とは異なり)男性は51歳以上生きる意がないと、かなりピンポイント的な値を算出して結論されているくらいです(やっぱりツライ)。

乳がん、卵巣がん、白血病、肺がん、すい臓がん…、等々(やっぱり多い)。

こうした感染症は(他の身体的疾患も)本書の後半で強調している「普通の生活(食を含む)」で(無意識にも)十分に対応できますから、やっぱり本文を普通に読んでください。

「すっぱい」という語は、「酔」と「はゆい(くすぐったいようなイライラさせられる様子)」とを組み合わせてできた言葉である。

UD(Universal Design)のように、最近は単語の頭文字を使った省略語が多い。

外国の街を歩いていると、occupied(満室)、vacant(空き部屋あり)のサインが出ているホテルを見かけます。

「しばらくしたら(子供たちが)出かけてしまうので、すぐに呼んでみましょうか」と、荷物を抱えた母に私は言った。

あのふわふわ浮かんだ雲に手が届くような気がするよ。(中略)

「自然学者」と呼ばれていた人々(彼らはやがて「智を愛するもの(哲学者)」と呼ばれるようになる)は、世界全体(宇宙)は一体として完結しており、万物について知ろうとするならまずは人間について学ばねばならない、と確信するに至った。

会社での社員採用の際、「即戦力となる人材がほしい」という声を聞くことがある。即戦力となる人材とは、会社にとって有益な価値の資源をすでに持っている人物であることを意味する。しかしたいいていは、そのような人物は、(特に新卒では)見つかりにくく、資源を提供できるように「教育」をする場合が多い。

私(平凡な妻)が、そんな大冒険をするなんて、彼(夫)には、想像もできないことだったらしい。彼は(見知らぬ他人がそこにいる)というめで、私をじっと見つめた。

私は、心の中で(ダメだったか)とつぶやいた。

こんな姿は見せられない(「見せれない」はう抜き言葉である)。

こんなことってあるだろうか。(あるはずがない)